

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2017
(平成29年)

11

No.191



大竹中央幼稚園運動会
(大竹中グラウンド／10月8日開催)

- ◆ 正副議長挨拶 2ページ
- ◆ 常任委員会 3ページ
- ◆ 特別委員会 その他の委員会 4ページ
- ◆ 議会日誌・管内視察 5ページ
- ◆ 第3回定例会 6ページ
- ◆ 一般質問 8ページ
- ◆ 審議結果表・12月議会日程 13ページ
- ◆ 陳情／請願／意見書 14ページ
- ◆ スマイルインタビュー・あとがき 16ページ

新体制決まる

9月定例会で、正副議長、各常任委員会、各特別委員会等の改選が行われました。



議長
児玉 朋也

副議長
細川 雅子

このたび、第36代に引き続き、第37代大竹市議会議長に就任させていただくことになりました児玉朋也と副議長の細川雅子でございます。

二元代表制の一翼を担う市議会として、市長をはじめとする執行部との真摯な論議を重ね、市民の福祉向上、安心安全なまちづくりにつながる継続事業の推進を図るとともに、新たな事業については、市民目線を心がけ、これからの社会でも対応できる事業であるか否かを念頭に意思決定をしてまいりますと存じます。

そして、議会改革として、引き続き議会報告会を開催し、市民の皆さまからの様々な声に耳を傾け、ご意見を今後の議会活動に反映させ、さらに開かれた議会となるよう議会運営を進めてまいります。

これから、神奈川県厚木基地から空母艦載機が移駐されることにより騒音の拡大などの問題が予想されますが、阿多田島の住民をはじめ、大竹市民が安心して生活できるようなまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。

そのほかにも、少子高齢社会問題、人口減少問題、公共交通問題など様々な課題がございますが、議員一丸となりまして、全力で取り組み、住んでよかったと感じられるまちづくり推進のため努力してまいります。

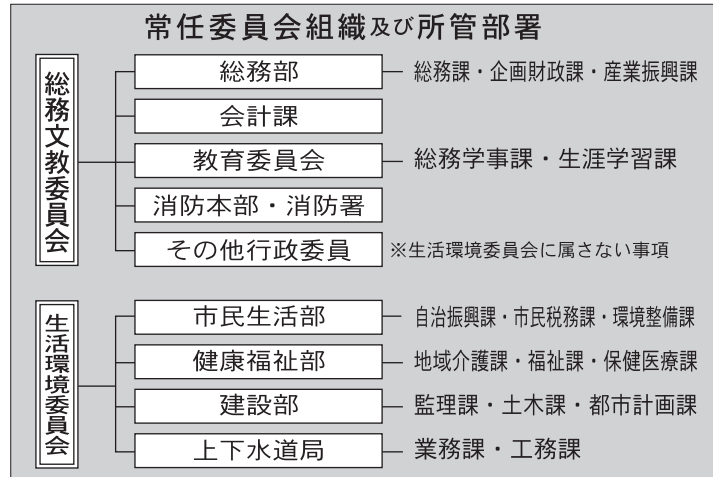
市民の皆さまにおかれましては、今後ともお一人層のご指導ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

常任委員会

議会に上程された議案・陳情等の内容は広範囲にわたるため、担当を分け、それぞれの委員会で、調査・審査を行っています。

その後、本会議において、議員全員によって決定されます。

大竹市議会では、2つの常任委員会を設けており、必ずどちらかに所属することになっています。



総務文教委員会



大井 渉
寺岡 公章
山崎 年一
末広 和基

山本 孝三
西村 一啓
(副委員長)
網谷 芳孝
(委員長)
児玉 朋也

生活環境委員会



日域 究
藤井 馨
賀屋 幸治

和田 芳弘
北地 範久
(副委員長)
田中 実穂
(委員長)
細川 雅子

議会運営委員会

円滑な議会の運営のため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置された委員会です。

例えば、会期や議事日程の決定や議会関係の条例、規則等の取扱いなどを協議します。

【委員長】 寺岡 公章

【副委員長】 山崎 年一

【委員】 西村 一啓
藤井 馨

網谷 芳孝
田中 実穂

議会日誌

8月～10月

- 8月 2日 岩国大竹道路期成同盟会総会
(岩国市)
- 8日～9日 「岩国基地周辺市の課題に関する要望書」
提出のための要望活動 (東京都)
- 18日 議会改革調査会
議員全員協議会
生活環境委員政策研究会
- 28日 地方港湾整備促進期成同盟会総会
(大崎上島町)
- 29日 議会運営委員会
- 30日 岩国大竹道路建設促進期成同盟会
東京要望
- 9月 5日 本会議
議会運営委員会
- 6日 本会議
議会運営委員会
- 11日 本会議
- 12日 本会議
基地周辺対策特別委員会
広報広聴特別委員会

- 9月 13日 総務文教委員会
- 14日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
- 15日 議会運営委員会
基地周辺対策特別委員会
- 26日 本会議
決算特別委員会
- 10月 2日 決算特別委員会
議会改革調査会
広報広聴特別委員会
- 6日 常任委員会 管内視察
- 11日 決算特別委員会
議会改革調査会
広報広聴特別委員会
- 16日 広島県市議会議長会臨時会(竹原市)
議会改革調査会
- 17日～20日 決算特別委員会
- 23日 議会改革調査会
- 24日～25日 小瀬川総合整備促進協議会・
国道 186 号整備促進協議会
東京要望
- 31日 基地周辺対策特別委員会



市内各所の視察に行きました

新しく常任委員が選任されたため、10月6日に、市の事業や施設の状況など7カ所を視察しました。

①民間ソーラー施設作業現場(後原地区)
土砂流出状況の確認

⑦市営住宅御園6号棟
進捗状況の確認



⑥さかえ公園
公園整備事業完了状況の確認

⑤新町ポンプ場建設予定地
建設予定地現地調査

③マロンの里
施設の老朽化と課題についての調査

④木野集会所
運用状況の確認



第3回 定例会

総務文教委員会

主な審査内容

●大竹市三倉岳県立自然公園園休憩所設置及び管理条例の一部改正について

解説
三倉岳県立自然公園園休憩所の開館時間の延長をしようとするもの。

Q 9月は登山が盛んな時期だと思いが、休憩所の開館時間の延長を7月、8月に限定し、9月は延長しない理由について問う。

A 8月31日の、日の入り時間は18時38分頃である。9月になると日の入りが日ごとに早くなることもあり、9月、10月も利用者は多いが、開館時間の延長は7月、8月の2か月に限定した。

Q 三倉岳は全国の登山者から関心を持たれている山である。今回の条例制定後に、休憩所の利用時間についてどのように周知するのか問う。

A 条例制定後、11月号の市広報、

市のHP(ホームページ)、看板等でお知らせし、また関係団体等にも周知をしていきたい。



Q 冬は滑落事故等が起こる可能性もある。入山届け等の管理はどうするのか問う。

A 休日は1日おきにしてあるため、入山届けを出した次の日が休みであればその次の日の朝に確認することができる。効率性を考えていく必要がある、利用客の多い夏場は時間を延長し、利用客が少ない冬場は時間を若干縮小し、休日を増やすという判断をした。

●平成29年度大竹市一般会計補正予算(第2号)

Q 地域介護・福祉空間整備事業費補助金で、スプリンクラーの設置について、今わかる範囲での設置場所等を問う。

A 今回の補助金では、元町の小規模多機能型居宅介護みりのりという事業所にスプリンクラーを設置する。小規模多機能型居宅介護事業所は市内に3ヶ所あり、みりのり以外の2ヶ所については既に設置済みである。認知症の方を対象としたグループホームは市内に4ヶ所あり、その全てに設置されている。



スプリンクラー設置予定場所
「小規模多機能型居宅介護みりのり」

●その他の議案1件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決



第3回定例会は、平成29年9月5日～9月26日の22日間行われました。
 詳細については、平成29年12月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

●「平成28年度大竹市工業用水道事業会計決算」・「平成28年度大竹市水道事業会計剰余金の処分及び決算」・「平成28年度大竹市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算」認定について

Q 水道事業会計の動力費が、平成27年度と比較して240万円下がっている。工業用水道事業会計でも130万円下がっており、いずれも大幅に減額となっている。

動力費はポンプ等の動力設備が同様であれば、通常大きく増減しないものと考えられるが、減額は努力の結果なのか、または、特異なケースなのか。

平成27年度決算では、動力費を含んだ業者委託に移行したことで、動力費が大幅に減少したと聞いているが、平成28年度ではさらに減額となっている。その原因について問う。



A 動力費については、平成27年度に防鹿水源地を管理委託している業者と契約の見直しを行い、動力費のうち電気料金については業者が負担し、そのかわり委託料が増えている。

契約時期の関係上、平成27年度には11か月分、平成28年度には残り1か月分の差が生じたことが要因であり、これにより水道事業会計、工業用水道事業会計ともに動力費が減額となっている。

Q 計画的に管路の更新が行われているが、平成24年度の0.45%、平成25年度の0.34%と比較して、平成28年度は0.19%と、更新率が下がっている。

総延長で195キロメートルもあるといわれている管路のメンテナンスには大変な苦労があると思うが、管路更新率が低下した原因を問う。

A これまでは、下水道の補助事業に工務担当が注力せざるを得ず、低下の要因となっていた。

平成28年度から組織改編を試行し、本年度に実施しており、水道局工務課がこれまでの工務係と施設係から、上水道係と下水道係へと移行し、更新率の回復に向けて、担当を振り分け、対応を行った。
 しかし、赤水の対応などで口径の

大きな管を更新せざるを得なかったため、結果につなげられなかった。今後も可能な限り、更新を進めていきたい。

●平成29年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

Q 介護予防普及啓発事業委託料を増額補正としているが、元気はつらつ教室を増額とするのは活性化しているためか、理由及び状況を問う。

A 元気はつらつ教室は、毎週1回サントピア大竹で、おおむね65歳以上の人が健康づくり・介護予防のために体操をしていたくもので、予約も不要で気軽に参加できる教室である。40名を想定し、スタッフ2名で見守り等対応をしている。

現在は参加が50名を超えることもあり、介護予防の促進のため、後半期においてもつらつ教室増やして開催をするために補正するものである。

Q 「もう少し近くにあれば行きやすい」との声もきいている。来年度以降は、もう少し地域を拡げて、事業を展開されたいと思うが、考えを問う。

A 開催地域については、今年度は現在のサントピアと、2教室目は総合体育館を考えている。

今後、効果をみながら、できれば他の地域でも実施していきたいが、広さなどの環境面での条件も考慮しながら、開催地域や回数等について検討していきたい。

※採決の結果、すべての議案が
 原案のとおり可決及び認定



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決及び認定



山本 孝三

- 教育行政について
- 小方地区まちづくりについて

田中 実穂

- 国保の制度改革について

山崎 年一

- 岩国基地の諸問題について
- 就学援助について問います。

寺岡 公章

- 公共性の高い市民団体の活動において起こる事故等の責任について

日域 究

- 大竹市政のPDCA。夕張市と重ね合わせてお尋ねします。
- 予算のルールは堂々と守ってほしい。議会審議が無意味になります。
- 小学校閉校ルールの確認。

大井 渉

- 市道小方御園1号線(JRガード下)拡幅事業について

北地 範久

- 公立保育所の再編と保育サービスの向上について。
- 医療費削減に向けたヘルスロードの再生を

和田 芳弘

- 空き家対策について

末広 和基

- 議会改革調査会のテーマの一つ、議会基本条例制定の取り組みが行政側にとってどんな意味を持つのか、お答え願えますか。
- 同様に、議会ICT化への取り組み、手法の第一弾としてタブレットの導入についてもお考えを伺います。

〔答〕にぎわい交流ゾーン開発での実現性を高めるための調査です。新駅は立地検討業務をふまえて鉄道事業者と協議し、ガード改良は新駅や小方地区のまちづくり事業の中で必要性を鉄道業者に示していきます。財源は大竹駅東口整備をふまえて検討します。

〔問〕 新年度、予算措置された業務委託は、重要課題である、小方新駅・ガードの抜本的改良・小方小学校跡地の活用具体化など、大竹・岩国道路事業の進展と、同時進行での取り組みが大事と思います。また、必要とする事業費、財源問題など報告・説明されるべきだと思います。

小方「まちづくり」について



山本 孝三



市道小方御園1号線(JRガード下)

〔答〕 道徳の教科書は調査研究・審議を経て、教育委員会が日本文教出版の教科書を選択しました。教職員の過重勤務解消に向け、勤務の実態把握、定時退校日の設定等を行っています。非正規職員の処遇改善は人事当局と連携して対応します。部活では休養日の設定、複数顧問での交代指導等を行っています。

〔問〕 学習指導要領が「改訂」され、「道徳」が教科化となりました。新たに採用された教科書の採択の経過と理由は、教職員の過重勤務の解消、非正規職員の処遇改善、部活における生徒及び教職員の負担軽減に、どう取り組まれていますか。説明を求めます。

教育行政について



田中 実穂

国民健康保険の
制度改正について

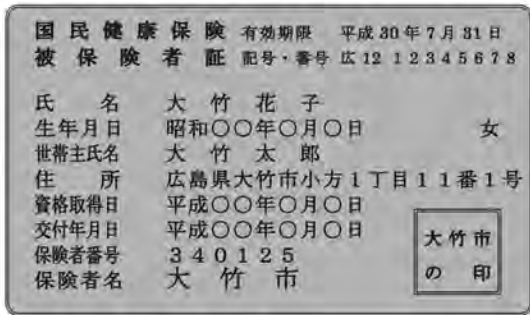
問 日本が世界に誇れる相互扶助の国民皆保険制度ですが、これまで各市町村で運営してきた国民健康保険は、年齢構成が高く医療費水準が高い、所得水準が低く保険料の負担が重い、財政基盤が弱く制度運営が困難、という構造的な課題があります。そこで来年4月から都道府県と共同運営する県単位の広域化になります。慢性的な赤字を抱える国民健康保険を広域化することで財政基盤を安定させ、国民皆保険制度を持続し社会保障制度の確立を図ろうとするものです。次の点をお伺いします。

①今後のスケジュールは？
②保険料の自治体間の格差は？
③脳ドック等、市単独の事業は？

答 ①県では、今後、平成30年度の各項目を推計し、12月末頃に納付金（保険料）が確定する予定です。県・市町等との協議結果に基づき、来年の3月に大竹市国民健康保険条例を一部改正する予定です。

②保険料率に影響する収納率は市町間で格差があるため、当面は、市町ごとの収納率を反映した「準統一の保険料率」になりますが、その後、収納率が市町間で均一化したとみなされる段階で、完全な「統一保険料率」になります。

③市単独の事業は、これまでどおり保険料を財源として実施できると考えていますが、現在、担当者レベルで構成する作業部会で、さらに検討を進めています。



答 国への申し立てなどの対応は、日米同盟や国政にかかわる重要な部分でもあり、非常に難しいと考えています。住民の安全対策は最優先事項として考えていただきたいと、折に触れてお願いしており、今後も国において、しっかりとした対応をとっていただけると考えています。

問 北朝鮮は、核開発とミサイル発射で国際社会から孤立しています。米国と北朝鮮が対話することなく、軍事的恫喝や非難の応酬で偶発的な事故や軍事衝突など不測の事態になれば、本市は重大な被害を受けます。基地隣接自治体として政府や米国に平和的・外交的な話し合いの提案をするべきです。

基地周辺住民の安全対策を問う



山崎 年一

問 就学援助の通知等は、保護者や児童にとって個人の尊厳にあたるものです。学校で配布するなど、いじめの要因となりませんか。申請書の「校長や民生委員が訪問等により調査を行う場合がある」との記述は、保護者に申請をためらわせます。申請書の提出は、学校でなく教育委員会とするべきと考えます。

就学援助の手続きについて問う

答 今後は、申請書の提出・通知方法や記述等も改善に向けて検討します。児童・生徒や保護者のプライバシー保護を十分考慮し、就学援助制度の積極的な周知に努め、経済的な理由で教育を受ける権利が阻害されないよう努力していきます。

平成29年度要保護児童生徒援助費補助金
予算単価及び国庫補助限度単価(学用品費等)
新入学児童・生徒学用品費等

| 区分 | 予算単価 | 国庫補助 | 28年現行 |
|-----|---------|---------|---------|
| 小学校 | 40,600円 | 20,300円 | 20,470円 |
| 中学校 | 47,400円 | 23,700円 | 23,550円 |

文科省初等中等教育局長(29.3.31通知から)



寺岡 公章

公共的市民団体活動での
事故等について

問 市のうたう市民自治の旗印の下、多くの市民によるボランティア的活動によって支えられた各種イベントや団体の定着は、文化風土の向上、地域力の維持につながる原動力であり、大竹が持つ高い潜在能力の一つであると誇らしく感じます。

全国では、このような公益性の高い活動での不慮の事故に対し、その主催者に責任が問われる事例を散見するようになっていきます。現場での想定外の事例に、専門家ではない奉仕者団体だけでは瞬間的に対応しきれないケースが起り得ます。

行政で取り組みにくい公共の隙間において新たな公共を実現してくださっている市民団体が主催、運営する公益活動での万一の事故に対する「責任」についてご考察くださるよう問題提起します。

答 事故等が起こった場合、主催者としては、被害者やその家族に誠意を持つて接することのほか、2度と同じような事故が起きないよう対策を検討し、実施していくことが重要だと思えます。また保険による金銭的な補償も一つの責任を果たす形になると思えます。

本市では、各自治会への支援として、自治会活動保険の案内と加入手続きの取りまとめを行っており、活動への不安が少しでも解消されるよう努めています。

今後は、市民活動を行政が支援する場合に、事業効果への期待と安全性への認識を両輪として、事業が運営されるよう啓発に努めます。また市民団体の皆様も、安心して活動できる保険制度を検討していきます。



スポーツ少年団の指導者もボランティア活動



日域 究

大竹市政のPDCAサイクル
(計画・実行・検証・行動)

問 大竹市は何を企画するにも財源不足と言う巨大な壁が立ち上がり、なげ誰も触れようとならないのでしょうか。

大竹市は大願寺山を開発し、その土を広島県事業である東栄沖埋立用に無償で提供しました。同時期、岩国市も愛宕山の土を米軍基地沖出事業用として防衛庁に提供しましたが、何と、岩国市は有償だったのです。

大願寺山開発事業の必要性は認めますが、仮に岩国市と同じ単価で土を売却していれば収入は百億円に達し、今、借金は存在していません。

通常小さな市が県の事業に百億円も協力するなどあり得ません。下手な交渉の結果として大きな借金を残し市民を苦しめる

ことになった経緯から、市長は何を教訓としますか。

答 大竹港東栄地区港湾整備は平成6年に県が第1期工事に着手した事業で、埋立土は本市が確保する協定を締結しています。社会状況の変化で第2期工事の目的が立たず、有償化を前提に様々な残土の処分方法を模索しましたが、平成11年度に県が第2期工事の着手を表明され、従前の協定書を前提に事業を進めざるを得ず、有償化は実現しませんでした。

この事業で大竹工業団地には多くの企業が稼働し、本市の大きな活力となる重要な事業と考えます。当時の判断の是非は述べられませんが、過去から引き継いだ現実、今ここにいる者たちが解決しなければなりません。長い時間を要しますが、お示ししたスキームを基礎に、着実に解決に向けて取り組んでいきます。



日経コンストラクション誌 平成13年2月9日号より



大井 渉

小方1・2丁目山陽本線
ガード下の拡幅事業について

問 市道小方御園1号線（JRガード下）の拡幅事業は、本市にも地域にも重要で緊急性を要する事業です。地元自治会や、商店街からも拡幅し安全な市道を求める陳情や要望が提出されています。近い将来の計画として、小方まちづくりやJR小方新駅設置に関わらず早急に取り組まなければならない事業であることは誰もが認めるところです。1日の交通量が3千台を超える非常に危険な市道です。現在の計画では交互通行で、車両が離合できない道路で、歩行者も危険な状況です。「安心で安全なまちづくりを目指す」と総合計画にも明記されています。緊急性が高い計画を実現されるのか、先送りされるのかを問います。

答 現状のままでは危険な道路であると十分認識しており、改善が必要と考えています。

具体的な改善方法については、現在検討を行っています。例えば既設のアンダーボックスを自動車専用とし、自転車・歩行者の通行専用として、新たにアンダーボックスを設置する方法が、より現実的であると考えています。

整備には、鉄道事業者との協議や了承が必要となり、小方新駅や旧小方小・中学校跡地の土地利用計画等と整合させながら、整備方針等を整理し、最適な設置位置を決めていく必要があります。そのため、完成には時間を要すると考えており、現時点において整備できる時期をお示しすることは難しい状況です。



市道小方御園1号線（JRガード下）



北地 範久

公立保育所の再編と保育
サービスの向上について

問 公立保育所の再編に時間がかかっているようですが、進捗状況はどのようになっているのでしょうか。

また、公立と民間保育所で延長保育・一時保育・0歳児保育・土曜日保育など保育サービスに差がありますが、公立保育所としての保育サービスの向上について考えを問います。

答 公立保育所等の再編に関する基本方針の策定に向け、素案の検討作業を進めており、今年度中には、お示ししたいと考えています。

再編後の施設において多様な保育サービスを提供できるよう取り組んでいきたいと考えています。

医療費削減に向けた
ヘルスロードの再生を

問 医療費は今後も増加の傾向にあります。以前からあったヘルスロード計画は、施設や路面標示など老朽化しています。この計画の再生や小瀬川沿いの遊歩道等を整備することで歩くことによる健康予防を推奨してはどうか問います。

答 ウオーキングは運動強度も適切で取り組みやすい運動の一つです。ヘルスロードの施設の点検を行い、適切に維持・修繕していきたくと考えます。

また、ヘルスロードや遊歩道などを利用した教室なども検討しながら市民の皆さまの健康意識を高めていきたいと考えています。



さかえ公園内ヘルスロード



和田 芳弘

団塊の世代の空き家について

問 近い将来、団塊世代の高齢化が進み、子どもがいても別荘に家を建てている、また県外に住んでいるなど、家を相続しても空き家としてそのまま放置される家が急速に増えていくと思われる。防犯、防災、景観の悪化など、まち自体がさびれていく事が予想されます。そこで、各自治会の協力のもと、近い将来空き家になるであろう家がどれくらいになるか、また相続人は誰なのかなど、本市としては把握しておく必要があると思います。今後どのような対策を考えていますか。

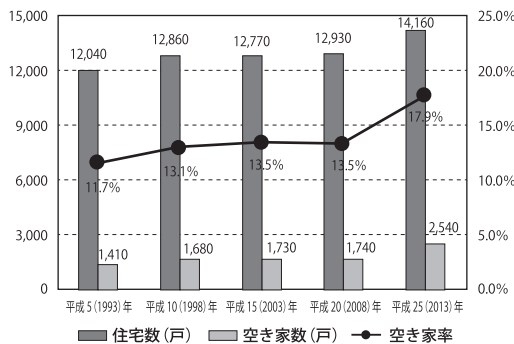
答 昨年度策定した「空家等対策計画」に基づき、今年度は空家の全件調査を行っているところです。次年度には倒壊等の恐れのある危険な空家について「特定空家等」の認定を行う予定としています。

「特定空家等」に認定された建物所有者等へは行政指導などを行い、その他の空家も、適切な管理の実施について周知・啓発を行います。

補助金等により、空家の利活用や解体を促進するなどの支援を行う例もあり、本市において、どのような支援が有効かを検証したうえで取り組んでいきたいと考えています。

相続による所有権移転が1月1日までになされなかった場合は、地方税法の規定により相続人代表者を指定し納付書を送付しています。

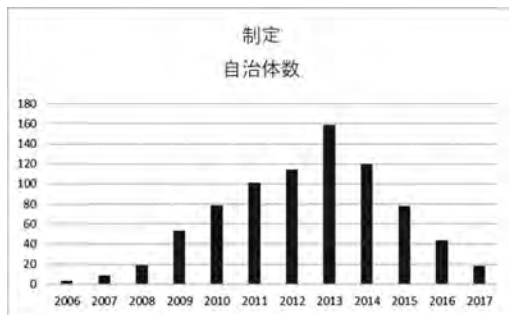
住宅数、空き家数、空き家率 (大竹市空家等対策計画)



末広 和基

議会基本条例制定の取り組みは行政側にとってどのような意味がありますか。

問 議会改革調査会のテーマの一つ、議会基本条例制定が、二元代表制の一翼としての行政サイドにとって、どのような意味を持つと思われますか。多くの条例制定の本質を理解されている行政側のご意見は。



議会基本条例制定自治体数の推移

答 議会基本条例は、議会が果たすべき役割や責任を定めたもので、議会が自律権をもって制定するものと考えます。議会の機能を高め、実際に議会がより良く変わったと、市民の皆様が実感できるようなものとし、議会と市長が、お互いの職責を果たしていくことが重要と考えます。

議会ICT化への第一弾、タブレットの導入についてもお考えを伺います。

問 セキュリティ強化が完了した庁内ネットワーク運用環境の中で、タブレット導入により執行部側に及ぼす影響や、想定されるメリット・デメリットを含め、どの様に受け止めますか。

答 タブレットを導入すると、資料のペーパーレス化や、修正などの迅速な対応が期待できる一方で、導入費用を要するほか、情報セキュリティの徹底が必要です。業務用パソコン更新の際に、タブレット導入を検討することは可能と考えます。

第3回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

| 議案など | 議案など | | | | | | | | | | | | | | 審議結果 | |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|
| | 児玉朋也 | 末広和基 | 賀屋幸治 | 北地範久 | 西村一啓 | 和田芳弘 | 大井芳渉 | 網谷芳孝 | 藤井馨 | 山崎年一 | 日域究 | 細川雅子 | 寺岡公章 | 田中実穂 | | 山本孝三 |
| 議案第53号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第56号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第57号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 認第4号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 平成29年陳情第2号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 |

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—: 議長 ○: 賛成 ●: 反対

「市政のあらまし(平成29年版)」

を販売しています。(1冊1,000円)

市のあゆみ、人口規模や予算・決算状況をはじめ、市の業務全般にわたる状況が集約されています。

議会事務局で販売しています。

大竹市情報公開コーナー、図書館等でも閲覧できます。



12月議会日程(予定)

| | |
|--------|-----------|
| 本会議 | 12月19日(火) |
| 特別委員会 | 12月11日(月) |
| 〃 | 12月8日(金) |
| 常任委員会 | 12月7日(木) |
| 〃(予備日) | 12月6日(水) |
| 本会議 | 12月5日(火) |

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会でも傍聴できます。議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

議云を

傍聴しませんか



陳 情 ・ 請 願 ・ 意 見 書

| 陳情書名 陳情提出者 | 要 旨 | ●付託委員会 ○委員会の討論 【委員会の結果】 | 【本会議 の結果】 |
|---|--|---|------------------|
| <p>小方一丁目と二丁目を 連絡するJRアンダーパス 整備についての陳情</p> <p>小方商和会 会長 大山 正治</p> | <p>岩国大竹道路整備事業も着実に進んでいる現在、「小方地区のまちづくり基本構想」が発表された。</p> <p>小方地区の付け替え道路の整備案も同時に記載されるべきであり、「新駅周辺ゾーン」におけるJRアンダーパスの安全性・利便性の向上は、将来の小方地区に必要な不可欠な解決すべき課題である。</p> <p>今後さらに晴海臨海公園、旧小方小・中学校跡地が整備されれば、交通量も増えてますます危険な箇所になるのは明白であり、次の項目について陳情する。</p> <p>JRアンダーパスの拡幅整備、あるいは新たなアンダーパスを設けることによる安全性・利便性の向上</p> <p>①車が安全に離合できる幅員の確保 ②車歩分離は必要不可欠で高齢者・幼児が安心して通行できる歩道の確保</p> | <p>○生活環境委員会</p> <p>●「アンダーパスの整備は、大竹市全体としてもポイントになる部分である。市道の付け替えに合わせて円滑な通行を確保することが、将来により影響を与え、好循環に導く第一歩であるとして、採択すべきである」</p> <p>「再陳情されたものであるが、今回は陳情項目において、『あるいは新たなアンダーパス』という表現がされている。JRと協議を進め、早い完成を目指してほしい。必要不可欠な道路整備と認識しており、採択すべきである」</p> <p style="text-align: center;">【採 択】</p> | <p>【採 択】</p> |
| <p>地方財政の充実・強化を 求める意見書採択について 請願</p> <p>大竹市職員労働組合 執行委員長 椋原 研介</p> | <p>地方財政をターゲットとした歳出削に向けた議論が加速しており、とくに、「トップランナー方式」の導入は、民間委託を前提とした地方交付税算定を容認するものであり、地方財政全体の容易な縮小につながるものが危惧されるものとなっている。</p> <p>また、数値目標設定による民間委託の推進には賛同できない。</p> <p>については、地方財政の充実・強化に向けて、地方自治体からの意見反映を強めるため、意見書を政府に送付してほしい。</p> | <p>○総務文教委員会</p> <p style="text-align: center;">【採 択】</p> | <p>【採 択】</p> |

請願や陳情の提出方法

どなたでも市政に対する意見や要望を、直接、市議会に届けることができます。

① 請願と陳情の違い

請願 は、市議会議員の紹介により提出されたもので、委員会で審議された後、本会議で採択（請願に賛成）か不採択（賛成できない）かが決められます。

陳情 は、市民、市内事業所に勤務する方、市内の各種団体に所属する方から提出されたもので、市政に直接関係するものについては、委員会で審査されます。

その後本会議で審議され、採択か不採択かが決められます。委員会で審査されない陳情書もあります。その場合は、議員に写しを配布します。

② 書き方

| | |
|-----------------|----------|
| 件 名 | 平成 年 月 日 |
| 大竹市議会議長 _____ 様 | |
| 住 所 _____ | |
| 氏 名 _____ ㊟ | |
| 紹介議員 _____ ㊟ | |
| 趣 旨 _____ | |
| 項 目 _____ | |

※陳情書の場合、紹介議員の欄は必要ありません。

③ 提出先

大竹市役所5階の議会事務局に提出してください。
事前に、お電話でのご相談も受け付けています。

☎ 0839-21833

陳情書(抜粋)

国土交通省主管の岩国大竹道路整備事業も着実に進んでいる現在、「小方地区のまちづくり基本構想」が発表された。

具体施策は素晴らしい内容になっているが、現在小方地区の重要な問題点の解決策が明確に記載されていない。

岩国大竹道路整備事業によって立ち退きを余儀なくされた小方の街並みに係る、付け替え道路の整備案も同時に記載されるべきであり、「新駅周辺ゾーン」におけるJRアンダーパスの安全性・利便性の向上は、将来の小方地区に必要な不可欠な解決すべき課題である。

現状でも晴海地区に大型商業施設が次々と建設され、JRアンダーパスの交通量は増加の一途であり、商和会会員も仕事で通過する際の危険個所に挙げている。今後さらに晴海臨海公園、旧小方小・中学校跡地が整備されれば、交通量も増えてますます危険な箇所になるのは明白である。

については下記の項目について陳情する。

記

(陳情項目)

○JRアンダーパスの拡幅、あるいは新たなアンダーパスを設けることによる安全性・利便性の向上

- (1) 車が安全に離合できる幅員の確保
- (2) 車歩分離は必要不可欠で高齢者・幼児が安心して通行できる歩道の確保

意見書(抜粋)

平成30年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止すること。
4. 復興交付金、震災復興特別交付税などの復興にかかる財源措置については、復興集中期間終了後の平成29年度以降も継続すること。また、平成27年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性の是正のため、地方偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。
6. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」「重点課題対応分」および「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換をはかるため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
7. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成29年9月26日

大竹市議会

(提出先) 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、
経済産業大臣、地方創生担当大臣



第18回 スマイル インタビュー



この会を結成した経緯は？

木野2丁目ボランティア活動をしているとき、木野1丁目でもできないかと、平成15年5月に20人で活動を始めました。

どのような活動をされているのですか？

毎月、生きがい教室を開催し、手作り昼食やメデイカルチェック、体操、筋トシ、脳トシ、ゲーム、手芸等を行っています。

100歳体操も毎月実施しており、終了後は手作りおやつとコーヒーで団欒しています。

また、年に5、6回、施設やイベント等で、歌や踊り、銭太鼓を披露しています。



生きがい教室で作成した作品

地域の催事にも積極的に参加して

おり、地域の見守り活動も始めました。空き家確認、高齢者で見守りの必要方などの地域マップ作りにも取り組み、援助が必要な高齢者と医療機関等との橋渡しもしています。

地域交流館の管理や清掃活動も行っています。

今後の活動は？

高齢者が家に閉じこもらないように、働きかけをすることが必要だと思います。ボランティアメンバーが高齢化していますが、できる限り活動を続けていこうと話しています。

これからも地域の高齢者の皆さんが安全で安心して暮らせる地域作りを目指して頑張っていきます。



9月に実施された上映会の参加者とメンバーの皆さん（上映会は毎月実施されます）

あとがき

4年間の任期半分が経過し、慣例により各議員の所属する常任委員会ほか、各特別委員会や調査会の構成員再編がありました。議会だよりを編集する広報広聴特別委員会でもメンバーの入れ替えがありました。

大竹市の常任委員会には総務文教委員会と生活環境委員会があります。委員会制度を採用している大竹市議会において、本会議に提案された議案に対し細かく議論をし、委員会としての判断を導き出す大変重要な役割を担います。

また、特別委員会には広報広聴と基地周辺対策を。調査会は議会改革に関する意見交換の場が設置されています。

委員会や調査会は広い本会議場ではなく、同じ市役所5階の委員会室で開催されるため、質疑への答弁をしてくださる執行部との距離が近いからか、いつも白熱した議論が展開されます。本会議に限らず、これら委員会の傍聴にもお越しくだされれば、大竹市政の流

れがより詳しくお分かりいただけます。引き続き同じ委員会に所属した議員、もう一方の委員会に移動した議員とも、それぞれが気持ちを新たに役割を担って市政の課題に臨んで参ります。

広報広聴特別委員

- 委員長 寺岡公章
副委員長 末広和基
委員 寺岡和基、北地久、西村一啓、和田芳弘、網谷芳孝、日域芳孝

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

発行・平成29年11月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方一丁目11-1 TEL 0827-5912183